

新聞賣讀

2007年(平成19年) 10月9日 火曜日

学校の耐震強化 防災教育考える

国際会議始まる

【バンコク＝田原徳啓】

アジア太平洋地域における学校の防災をテーマに国連機関などが意見交換する国際会議「アジア・太平洋地域ワークショップ―学校教育と災害リスク軽減」が8日、タイの首都バンコクで始まった。各国政府関係者や防災専門家ら250人が10日までの3日間、阪神大震災やインド洋大津波などの大災害の経験を踏まえ、有意義な防災教育と安全な校舎建設を進める運用指針を検討する。

会議は、国連国際防災戦略(ISSDR)や国連教育・科学・文化機関(ユネスコ)のほか、国連地域開発センター(UNCED)防災計画兵庫事務所(神戸市)が共催。同事務所は「学校安全性の強化」のセッションを担当。2005年からインドネシア、インド、ウズベキスタン、フィジーの4か国で取り組んできた学校の耐震補強事例を紹介する。